



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <https://www.rohto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉本 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-8223

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日 2020年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	83,004	△8.2	10,779	3.7	11,090	1.9	6,178	△15.4
2020年3月期第2四半期	90,428	3.6	10,393	△3.0	10,883	△1.8	7,305	△0.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 5,765百万円(21.0%) 2020年3月期第2四半期 4,762百万円(△32.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	54.17	54.01
2020年3月期第2四半期	64.07	63.86

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	214,788	144,310	66.7
2020年3月期	215,301	140,032	64.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 143,260百万円 2020年3月期 138,899百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年3月期	—	13.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	△2.8	21,800	△5.6	22,100	△2.8	14,000	△9.2	122.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	118,089,155株	2020年3月期	118,089,155株
2021年3月期2Q	4,019,012株	2020年3月期	4,018,988株
2021年3月期2Q	114,070,160株	2020年3月期2Q	114,013,590株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により景気の停滞感が鮮明となりました。個人消費につきましては、緊急事態宣言解除後、緩やかな回復の兆しがあるものの、雇用不安など経済の下振れリスクの懸念が高まっており、節約志向は一段と高まりました。海外におきましても、外出禁止令や企業の活動停止、移動制限などによる経済活動の抑制などが行われ、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは世界の人々が身体も心もイキイキと様々なライフステージにおいて笑顔あふれる幸せな毎日を過ごせるよう「Connect for Well-being」のスローガンを掲げ、さらなる企業価値の向上を目指して取り組んでおります。

その結果、売上高は830億4百万円（前年同期比 8.2%減）となりました。日本におきましては、昨年の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減や、外出自粛の影響により日焼け止めやリップクリーム、コンタクト関連品が減収となりました。一方、高付加価値の目薬が堅調であることや、前連結会計年度末に子会社となった㈱日本点眼薬研究所の売上が寄与いたしました。海外におきましても、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行の影響により各地域とも減収となりました。

利益面につきましては、売上が減少したものの、販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、営業利益は107億7千9百万円（同 3.7%増）、経常利益は110億9千万円（同 1.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61億7千8百万円（同 15.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (日本)

外部顧客への売上高は、553億5千6百万円（前年同期比 5.2%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛の影響により、日焼け止めやリップクリーム、コンタクト関連品が減収となったことに加え、インバウンド需要も低迷いたしました。また、昨年の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減も影響しております。

一方、高付加価値の目薬や「デオコ」は好調に推移しております。また、㈱日本点眼薬研究所に加え、医薬品開発・製造受託子会社も好調でありました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が伸び悩んだものの原価低減や販売費及び一般管理費の効率的活用に努めたことにより、増益となりました。また、一昨年より取り組んできた構造改革費用も一巡したことや㈱日本点眼薬研究所なども寄与し、77億9千7百万円（同 9.9%増）となりました。

#### (アメリカ)

外部顧客への売上高は、37億8千7百万円（前年同期比 12.2%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で、目薬は伸び悩んだものの、メンソレータム軟膏が増収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が伸び悩んだものの販売費及び一般管理費の効率的活用により、8千8百万円の損失（前年同期のセグメント損失は1億8千2百万円）と損失が改善いたしました。

#### (ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、36億9千1百万円（前年同期比 15.9%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響で、主力の消炎鎮痛剤や化粧品が大幅な減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、販売促進費及び広告宣伝費の効率的活用により、2億4千8百万円（同 308.7%増）となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、193億3千8百万円（前年同期比 13.7%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を効果的にコントロールした台湾などは従来通りの経済活動へと復帰してきており、ベトナムも国内売上は堅調に推移しております。また、主力の中国においても回復傾向にあります。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、厳しい売上環境のもと、販売促進費及び広告宣伝費の低減に努めたものの、26億9千万円（同 16.5%減）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、8億3千万円（前年同期比 9.0%減）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、4千万円（同 32.9%減）となりました。

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は2,147億8千8百万円となり、前連結会計年度末より5億1千2百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が17億5千1百万円、商品及び製品が22億8千5百万円、原材料及び貯蔵品が14億9千9百万円それぞれ増加した一方、電子記録債権が58億5千4百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は704億7千7百万円となり、前連結会計年度末より47億9千1百万円減少いたしました。これは、長期借入金が14億8千1百万円、支払手形及び買掛金が11億1千4百万円増加した一方、未払費用が43億9千1百万円、未払法人税等が18億8百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,443億1千万円となり、前連結会計年度末より42億7千8百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が46億9千5百万円、その他有価証券評価差額金が11億2千2百万円それぞれ増加した一方、為替換算調整勘定が15億3千9百万円減少したこと等によるものであります。

### ②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17億3千1百万円増加し、463億9千7百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ8億7千8百万円減少し65億8千6百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が90億5千万円あり、キャッシュ・フローの増加要因である減価償却費が29億4千3百万円、売上債権の減少額が65億8千4百万円あった一方、キャッシュ・フローの減少要因であるたな卸資産の増加額が41億1千万円、法人税等の支払額が46億1千万円、未払費用の減少額が40億2千5百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ18億5千1百万円増加し43億9百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が34億8千2百万円、投資有価証券の取得による支出が5億4千3百万円あった一方、定期預金の払戻しによる収入が3億4千9百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ41億8百万円増加し3億9千8百万円となりました。これは、長期借入による収入が28億8千3百万円、配当金の支払額が14億8千2百万円、長期借入金の返済による支出が9億3千9百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績は、おおむね計画通りに推移しているため、2020年5月12日に公表いたしました通期の業績予想は変更していません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,307	47,058
受取手形及び売掛金	32,900	31,449
電子記録債権	17,893	12,039
商品及び製品	16,504	18,789
仕掛品	3,218	3,003
原材料及び貯蔵品	10,903	12,403
その他	3,757	4,917
貸倒引当金	△377	△246
流動資産合計	130,108	129,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,048	20,029
その他（純額）	28,412	28,554
有形固定資産合計	48,460	48,584
無形固定資産		
のれん	3,373	3,072
その他	1,945	1,880
無形固定資産合計	5,318	4,952
投資その他の資産		
投資有価証券	23,880	24,616
その他	10,258	10,197
貸倒引当金	△2,725	△2,977
投資その他の資産合計	31,413	31,836
固定資産合計	85,192	85,373
資産合計	215,301	214,788
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,324	12,439
電子記録債務	2,919	2,485
短期借入金	2,105	2,574
未払費用	25,629	21,238
未払法人税等	4,555	2,747
賞与引当金	2,643	2,513
役員賞与引当金	40	15
返品調整引当金	557	507
売上割戻引当金	2,178	2,255
その他	10,161	8,952
流動負債合計	62,117	55,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	5,190	6,672
退職給付に係る負債	4,317	4,316
債務保証損失引当金	1,957	1,947
その他	1,685	1,813
<b>固定負債合計</b>	<b>13,151</b>	<b>14,750</b>
<b>負債合計</b>	<b>75,269</b>	<b>70,477</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,504	6,504
資本剰余金	5,661	5,661
利益剰余金	131,985	136,681
自己株式	△4,935	△4,935
<b>株主資本合計</b>	<b>139,215</b>	<b>143,911</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	4,144	5,266
為替換算調整勘定	△2,617	△4,156
退職給付に係る調整累計額	△1,843	△1,761
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△316</b>	<b>△651</b>
新株予約権	382	382
非支配株主持分	749	667
<b>純資産合計</b>	<b>140,032</b>	<b>144,310</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>215,301</b>	<b>214,788</b>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	90,428	83,004
売上原価	36,812	34,046
売上総利益	53,615	48,957
返品調整引当金繰入額	49	—
返品調整引当金戻入額	—	50
差引売上総利益	53,565	49,008
販売費及び一般管理費	43,172	38,228
営業利益	10,393	10,779
営業外収益		
受取利息	238	184
受取配当金	287	200
持分法による投資利益	—	178
その他	382	315
営業外収益合計	907	878
営業外費用		
支払利息	64	65
持分法による投資損失	195	—
貸倒引当金繰入額	—	263
その他	156	239
営業外費用合計	417	567
経常利益	10,883	11,090
特別利益		
固定資産売却益	153	—
特別利益合計	153	—
特別損失		
固定資産除却損	—	82
減損損失	—	379
投資有価証券評価損	298	1,331
関係会社株式売却損	—	16
関係会社株式評価損	143	229
貸倒引当金繰入額	109	—
関係会社貸倒引当金繰入額	7	—
特別損失合計	558	2,040
税金等調整前四半期純利益	10,478	9,050
法人税等	3,149	2,864
四半期純利益	7,329	6,186
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,305	6,178

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	7,329	6,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△446	1,121
為替換算調整勘定	△2,185	△1,612
退職給付に係る調整額	78	81
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△11
その他の包括利益合計	△2,566	△421
四半期包括利益	4,762	5,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,748	5,843
非支配株主に係る四半期包括利益	14	△78

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,478	9,050
減価償却費	2,864	2,943
減損損失	—	379
のれん償却額	236	265
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△88	△130
賞与引当金の増減額 (△は減少)	85	△127
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△119	87
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	49	△50
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	△133	76
貸倒引当金繰入額	109	263
関係会社貸倒引当金繰入額	7	—
固定資産除却損	—	82
投資有価証券評価損益 (△は益)	298	1,331
関係会社株式評価損	143	229
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	16
有形固定資産売却損益 (△は益)	△153	—
受取利息及び受取配当金	△525	△385
支払利息	64	65
持分法による投資損益 (△は益)	195	△178
売上債権の増減額 (△は増加)	2,588	6,584
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△949	△4,110
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9	1,024
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,230	△4,025
その他	△2,550	△2,592
小計	10,363	10,799
利息及び配当金の受取額	542	401
利息の支払額	△25	△19
法人税等の支払額	△3,420	△4,610
法人税等の還付額	5	15
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,464</b>	<b>6,586</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△335	△389
定期預金の払戻による収入	422	349
有形固定資産の取得による支出	△2,251	△3,482
有形固定資産の売却による収入	2,129	125
無形固定資産の取得による支出	△507	△211
投資有価証券の取得による支出	△1,896	△543
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△0
長期貸付けによる支出	△141	△218
長期貸付金の回収による収入	101	61
その他	21	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,457</b>	<b>△4,309</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,998	33
長期借入れによる収入	532	2,883
長期借入金の返済による支出	△562	△939
配当金の支払額	△1,595	△1,482
その他	△84	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,709	398
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,580	△944
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△282	1,731
現金及び現金同等物の期首残高	37,345	44,665
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,062	46,397

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響について

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	58,409	4,315	4,387	22,403	89,515	912	90,428	—	90,428
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,821	608	30	1,733	4,193	18	4,211	△4,211	—
計	60,230	4,923	4,418	24,136	93,709	931	94,640	△4,211	90,428
セグメント利益 又は損失(△)	7,098	△182	60	3,222	10,199	60	10,259	133	10,393

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失(△)の調整額133百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	55,356	3,787	3,691	19,338	82,173	830	83,004	—	83,004
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,573	503	19	1,620	3,717	13	3,730	△3,730	—
計	56,929	4,291	3,710	20,959	85,891	844	86,735	△3,730	83,004
セグメント利益 又は損失(△)	7,797	△88	248	2,690	10,649	40	10,689	89	10,779

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失(△)の調整額89百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては379百万円であります。

(重要な後発事象)

投資有価証券の売却

当社は、2020年9月25日開催の取締役会において、保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、10月2日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 投資有価証券売却の理由

当社資産の有効活用を目的として、保有する投資有価証券の一部を売却することといたしました。

2. 投資有価証券売却の内容

- (1) 売却株式 : 非上場株式
- (2) 売却時期 : 2020年10月2日
- (3) 売却価額 : 約30百万米ドル(約3,200百万円)

3. 損益に与える影響

第3四半期連結会計期間において約2,700百万円を特別利益に計上する予定であります。